

令和6年度資金収支状況について

1 資金収支

令和6年度における歳計現金等（歳計現金及び雑部金）の残高は、年度当初が約383億5千3百万円、令和7年3月末では約194億9千3百万円であった。

その間、一日あたりの平均残高は、約70億5千6百万円、最高残高が約383億5千3百万円、最低残高は△87億8千7百万円であった（表1参照）。また、歳計現金等の不足を補うため、財政調整基金から繰替運用を実施した（表2参照）。

表1 歳計現金等残高比較 (単位：百万円)

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
最高額	36,426	38,997	38,353
最低額	6,700	4,553	△8,787
平均額	14,170	13,557	7,056

表2 財政調整基金からの繰替運用実績

	繰替期間	繰替額	金利	繰替日数	支払利子
1	R7.1.30 ～ R7.1.31	21 億円	0.1%	1 日	5,753 円
2	R7.2.4 ～ R7.2.9	17 億円	0.1% (令和7年3月3日 から0.2%)	52 日間	1,410,138 円
3	R7.2.10 ～ R7.2.19	49 億円			
4	R7.2.20 ～ R7.2.26	32 億円			
5	R7.2.27	39 億円			
6	R7.2.28 ～ R7.3.4	32 億円			
7	R7.3.5 ～ R7.3.23	94 億円			
8	R7.3.24 ～ R7.3.27	62 億円			
				53 日間	1,415,891 円

2 基金運用

令和7年3月末現在における積立基金の残高は、約773億円であり、前年同期に比べ、約20億円の減となっている。

金利については、マイナス金利政策が解除され、長期金利の指標となる10年国債金利は年度当初から上昇を続け、令和7年3月には15年9ヶ月ぶりに金利を1.5%台に乗せるなど高水準となった。

このような状況の下、基金の運用は、極力普通預金での保管を減らし、安全性及び流動性を確保できる大口定期預金等による運用を継続してきた。その結果、令和6年度の運用益は約1億4千1百万円、運用利回りは約0.18%となった（表3参照）。

なお、令和7年3月末の積立基金運用状況は、表4を参照。

表3 積立基金運用益比較

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年度末残高	69,148,469,070 円	79,266,065,377 円	77,259,722,673 円
運用益	36,131,941 円	62,879,773 円	140,932,451 円
運用利回り	0.05%	0.08%	0.18%

表4 積立基金運用状況（令和7年3月31日現在）

（単位：円）

基金名	残高	運用種別		
		普通預金	債券	定期性預金
財政調整基金	35,938,478,076	28,720,443,076	1,618,035,000	5,600,000,000
社会福祉施設整備基金	3,960,932,729	2,460,932,729	500,000,000	1,000,000,000
減債基金	1,383,196,511	1,383,196,511	0	0
義務教育施設整備基金	15,095,554,421	10,095,554,421	0	5,000,000,000
平和基金	97,963,691	17,963,691	80,000,000	0
区営住宅整備基金	1,140,877,307	140,877,307	0	1,000,000,000
介護給付費準備基金	2,922,231,027	722,231,027	0	2,200,000,000
道路・公園整備基金	4,071,461,789	4,071,461,789	0	0
まちづくり基金	12,341,700,281	12,341,700,281	0	0
区民公益活動推進基金	2,647,313	2,647,313	0	0
環境基金	225,614,402	125,614,402	0	100,000,000
新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金	78,065,126	65,126	0	78,000,000
子ども・若者文化芸術振興基金	1,000,000	1,000,000	0	0
計	77,259,722,673	60,083,687,673	2,198,035,000	14,978,000,000